

平成30年度第1回成田市総合計画審議会会議録

1 開催日時

平成30年10月11日（木） 午後2時00分より

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所議会棟3階 執行部控室

3 出席者

(委員)

野平会長、新井副会長、小野委員、末崎委員、山崎（良）委員、匠瑳委員
山崎（幸）委員、杉原委員、高梨委員、

(事務局)

企画政策部 宮田部長

企画政策課 米本課長、西宮課長補佐、平野主幹、中村主任主事

4 議事（要旨）

(1) 「NARITA みらいプラン」実施計画のローリングの内容について

- ・今年度実施した「NARITA みらいプラン」実施計画のローリングにおいて新たに加わった事業や、大きな見直しがあった事業について報告を行った。

(2) その他

- ・今後のスケジュールについて

5 質疑等

□報告された各施策において、事業名に「新規」が付いているものと、付いていないものの違いは。

→事業名に「新規」が付いているものは、平成31年度より新たに行っていく事業であり、「新規」が付いていないものについては、既存の事業で内容の見直しを行った結果、拡大となった事業である。

□今回のローリングにおいて新たに加わった新規事業、及び大きな見直しがあった背景は、
→都市計画決定日後住宅空気調和機器設置工事補助事業については、成田空港の更なる機能強化に伴い、A滑走路において夜間飛行制限の緩和が先行実施され、それに合わせて、共生財団が内窓設置事業を開始するため、本市としても空気調和機器の設置補助を行うものである。

次に、鉄道駅バリアフリー化推進事業については、2020年オリンピック・パラリンピック開催を見据え、多くの訪日外国人等の安全を確保するため、率先して実施するものである。

次に、（仮称）成田浄化センター整備事業については、施設の老朽化が激しいことから、再整備に向けた取組みを進めるものである。

次に、地球温暖化対策推進事業については、太陽光発電システムなどの住宅用省エネルギー設備設置費に対する3年間の時限補助が本年度で終了することから、これを延長し継続して実施するものである。

次に、母子保健事業については、本年度新たに子育て世代包括支援センターを保健福祉館内に設置し、新たなサービスとして訪問型及び宿泊型の産後ケア事業を開始するものである。

次に、介護施設等整備事業については、平成30年度から平成32年度までの3年間を計画期間とした、第7期介護保険事業計画に基づき、介護保険サービスに係る基盤整備を重点的に充足するものである。

次に、総合保健福祉計画策定事業については、保健福祉関連施策を計画的に推進するため、新たに平成33年度から6カ年を計画期間とした、総合保健福祉計画の策定を行うものである。

次に、小中学校長寿命化改良事業については、今まで30年を超えた学校建物を大規模改造事業として改修してきたが、40年を超えるものについては、国からの補助率が高いメニューがあり、その補助要件としての躯体調査等を実施し、施設改修を計画的に行っていくものである。

次に、スポーツ広場等整備事業については、長年の懸案事項であった、遠山スポーツ広場の拡張整備を行っていくものである。

次に、まちづくり戦略推進事業については、成田空港の更なる機能強化や2020年に開院を予定している大学病院を核とした医療関連産業の集積等に伴う人口増加等を見据え、新たなまちづくりを戦略的に推進するため、基本的な調査を実施するものである。大学病院には2,000人ほどの雇用が見込まれており、民間のシンクタンクによれば、空港内従業員が約40,000人から約70,000人に増加し、さらに市内人口も10,000人ほど増加するという試算が出ている。

次に、スポーツツーリズム推進事業については、東京オリンピック・パラリンピックに向け、本市はアメリカ陸上チームに加え、アイルランドパラリンピックチームのホストタウンに登録されているため、交流事業等を実施していくものである。

次に、都市計画策定事業については、成田空港の更なる機能強化に伴う騒音区域の変更があるため、見直しを図るものである。

次に、幹線道路整備事業については、こちらも成田空港の更なる機能強化や、先ほどご説明した吉倉地区周辺における新たなまちづくり、また、新生成田市場の利用促進に向け、広域的な道路網の整備を行っていくものである。

次に、観光 PR 事業については、オリンピック・パラリンピックを控え、訪日外国人が増えている中で、日本を旅行中である「旅ナカ」外国人に向けたプロモーション活動を戦略的に行っていくものである。

次に、市場運営管理に関する経費、及び輸出促進事業については、2020 年に千葉県の花植木センターの跡地に市場を移転することとなっており、既存の市場から新市場へ円滑に移転できるよう補助を行うものである。併せて、国内農水産物の輸出促進に向けた取り組みを行う事業者への支援を行うものである。

最後に、学校跡地利活用事業については、小中一貫教育校「下総みどり学園」の開校に伴い、廃校となった旧下総町の4校を有効活用するため、市役所内部や地域住民の方々と協議を行っており、一定の方向性が決まったため、利活用を推進するものである。

□高齢者医療への施策について、現在、健康な高齢者が活躍できる場が求められていると思うが、住民が主体的に活動できるための取組みなどはあるか。

→今回、資料に示させていただいたものは新規事業、及び拡大となった主要事業のみであり、介護施設等整備事業のみ見ればハード面に特化したものとなるが、例えば「いきいき百歳体操」など、指導者を派遣し、地元の方を巻き込んで主体的に行っていただくものや、介護にならないための予防事業の実施にも取り組んでいる。

□都市ボランティアの育成はどのように進めているのか。

→都市ボランティアについては、千葉県が主体となって募集を行い、育成については各自治体が行うこととなっている。競技開催地等に人数が割り振られており、本市は300名規模のボランティアを育成することとなっている。

□まちづくり戦略推進事業について、差支えない範囲で情報提供を。

→成田空港の更なる機能強化や、2020年に開院予定である大学病院と連携した医療関連産業の集積等に伴う人口増加に対応するため、吉倉地区の鉄道駅構想周辺から大学病院までの約100haの周辺区域について、基盤整備に向けた基本調査を行っている状況であり、現在、事業手法も含めて検討している。

□新生成田市場は、既存の市場と比較してどのように変わるのか。

→既存の市場設備に加え、ワンストップ輸出機能や高機能物流棟の整備、及びインバウンドを含めた集客施設の整備を計画している。

□農水産物の輸出については、全国の生産者が対象となるのか。

→全国の生産者が対象となるが、本市としては、地域の農業振興の観点から、地元の農家の方々にもご協力をいただきたいと考えている。

□小中学校長寿命化改良事業について、「多様な学習内容等に対応した機能的な教育環境の確保」とはなにか。

→建物の老朽化に伴う大規模改修の中で、現在の教育環境に合わせた多目的室やコンピューター室などのハード面の整備を計画的に行っていくということである。

□廃校となった学校の跡地利用の現状は。また、民間事業者の活用とはどういったものか。

→旧豊住中学校については、健康や高齢者のいきがづくりの拠点となる施設として、豊住ふれあい健康館がオープンしている。旧中郷小学校については、地域コミュニティの場として、地域の方々に利用していただくよう、来年4月からの運用開始に向け準備を進めている。旧久住第2小学校については、民間事業者を活用し、宿泊施設として整備を進めている。旧東小学校については、地域の方々の意見を踏まえながら、パークゴルフ場の拡張整備に向け調整を行っている。旧名木小学校については、知的障がいのある人を対象とした生活介護事業所として、社会福祉法人が運営を開始している。旧滑河・旧高岡小学校については、現在、市の文化財を市内7か所に保管しているが、施設の老朽化等を考慮し、一元的に管理するため、文化財の保存・展示施設として整備を進めている。旧小御門小学校については、これから民間事業者の公募を開始する。市としては、地域の方々に喜んでいただける提案を民間事業者からいただければと考えている。

□各事業に対して、市民から意見を取り入れる手法はあるのか。

→個々の事業に対して直接意見を取り入れることは難しいが、事業担当課にて意見を集約するなどして、出来るだけ反映するよう努めているとともに、毎年、市民を対象に市民満足度調査を実施しており、各施策に対する満足度と重要度の結果を反映している。

□各事業における財政面の詳細については。

→今回は事業の主な内容を報告させていただいているが、次回はその財源も含め報告させていただく。

□市政モニターの活用状況について。

→登録状況は約 800 名程度となっており、インターネットを活用することで、迅速に市民の皆様の意見を反映することが出来るため、今後も有効に活用していきたいと考えている。

6 傍聴

2名